

研究分野		授業科目名		科目責任者
生理系分野		女性機能病態医学研究		(太田 啓明)
開講年次	共通/専攻/選択		単位数	
1~4	必須専攻		20	
目的				
(1) 婦人科腫瘍の診断, 治療法を習得するため, 婦人科腫瘍学に関する臨床病理学的研究を行う。 (2) 婦人科腫瘍に対する低侵襲治療の適応と実際を研究する。				
授業到達目標				
(1) 婦人科腫瘍学に関する研究を計画し遂行できる。 (2) 婦人科腫瘍に関しての臨床病理学的検討を行う。 (3) 低侵襲手術における適応と問題点, その将来性について検討する。				
授業計画				
月日	曜日	時間	担当者	授業内容
毎週	月	15:00 - 16:00	太田 啓明	研究手法について討議する。
毎週	水	15:00 - 16:00	太田 啓明	データ解析について討議する。
毎週	水	15:00 - 16:00	佐野 力哉	データ解析について討議する。
評価方法				
(1) 1・2年次に中間発表へ出席する。 (2) 2年次に中間発表で発表する。 (3) APRIN e-ラーニングプログラム (eAPRIN) の必須単元を受講する。[受講期間: 1年次に受講。] (4) 1週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ, 科目責任者の認定印をもらい, 学期ごとに提出する。				
課題 (レポート等) に対するフィードバック				
(1) 1週間ごとの実験内容報告に対し, 指導・助言を行う。 (2) 中間発表に対し, 指導・助言を行う。				
教科書				
ISBN-9784815918927, 症例から学ぶ婦人科腫瘍学入門 (改訂第2版), 井上正樹, 永井書店, 2011				
参考書				
ISBN-9781441904881, Blaustein's pathology of the female genital tract (6th Edition), Robert J. Kurman, et al., Springer, 2011				
準備学習 (予習・復習等)				
(1) 実験あるいは研究前に1時間程度の十分な予習をすること。 (2) 毎週, 履修手帳に研究計画・内容を記載すること。 (3) 実験あるいは研究終了後は速やかにデータを記録すること。 (4) また内容に関しては1時間程度指導教員と検討会を開き, 今後の課題を抽出する。				
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
卓越した研究成果をあげ, 婦人科腫瘍学の深い学識を獲得する。				
注意事項・メッセージ				
婦人科腫瘍学の研究に熱心に取り組んでください。 今回の研究成果が治療戦略, 治療成果の向上につながるものであることを望みます。				